

# 浦添盤石アベツクV

## ハンドボール

(名護高校体育館ほか)

### 【男子】

#### ▽準決勝

名護市 44 29 糸満市  
浦添市 43 19 沖繩市

#### ▽決勝

浦添市 44 16 28 14 27 名護市  
13 14

### 【女子】

#### ▽準決勝

浦添市 28 23 那覇市  
島尻郡 32 27 八重山郡

#### ▽決勝

浦添市 33 14 19 17 16 島尻郡  
14 19 9

スピードで  
力で多彩に

5連覇の男子浦添

○：県内トップレベルにある複数のクラブのメンバー

1で構成する男子浦添市が、初優勝を狙った名護市を圧倒し、5連覇を達成した。

積孝也らの速攻に、佐久本選手が受ける連覇への重圧は相当なもののように、西原聖監督は「どうしても大差をつけたが、選手や負けられないというすごいプレッシャーがあった」と打ち明け、ホツとした表情を見せた。

すっかり修正ミスなくV9  
女子浦添

○：9連覇を決めた女子浦添市は、27日の初戦ではシュートミスが多発し「勝っても不満の残る内容だった」（佐久川かおり主将）と言うが、最終日のこの日はしっかりと修正した。速い動きの中にも目立ったミスはほとんどなかった。

大会直前に主力の西銘紗貴ら大学生がインカレ出場のために沖縄を離れ、チーム全体の調整が十分でなく、特に守備を課題としていたが、その守りががっちり機能した。

中でも前半にトップディフェンスの位置に立った西銘の動きが際立った。「相手の両45度をスピードに乗せないようにした」と、自らの速い飛び出しでけん制し、ボールを次々と奪って速攻につなげた。

東江正作監督は「それぞれが役割を果たしてうまく機能した」と喜んだ。



前半、速攻からシュートを決める浦添市の積孝也。28日、名護市の北部生涯学習推進センター



女子決勝 前半の守備で相手ボールを奪い、速攻に転じる浦添市の西銘紗貴（左から2人目）